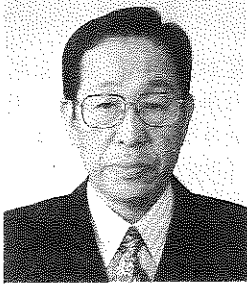


栃木県中学校長会報

共に英知を 出し合うとき



栃木県中学校長会
長
宇都宮市立旭中学校
校長 間 宵 博

社会情勢の急激な変化に伴いまして、今、学校は大きな変革を求められている時であります。

昨年7月の第15期中央教育審議会の第一次答申では、これからの教育は、「生きる力」を生むことがその基本であるとの提言が出されました。

また、16期に入りまして、第二次答申では、一人一人の能力・適性に応じた教育への転換、高等学校入学選抜に関して、選抜方法の多様化、評価尺度の多元化を図る等の改善、中高一貫教育の導入等々の提言が出されました。

一方、第一次の答申を基に「教育課程審議会」による教育内容の審議がすすめられており、新聞報道によると、「総合学習」の導入や指導内容の精選から厳選の方向が伝えられてきております。

更には、最近、教育教員養成審議会から、新たな時代に向けた教員養成の改善方策について、第一次の答申がだされたところでもあります。

その他、文部省による「教育改革プログラム」の策定、行政改革委員会規制緩和委員会からの教育分野への提言等々各方面から教育改革に向けての主張が次々と出されているところであります。

このような変革の時代に、学校がどう応えていくのか、中学校教育の在り方が、正に国民から問われているのが現状であり、私ども中学校長の責務は重大であると感じております。

このような時代に、校長としてどうあればよいのか、私は、今年度の総会おきまして所信の一端を述べさせていただきます。

一つは、教育の新しい動きに関して校長自らが敏感であること。改革の意義を十分認識し、教師の意識改革にリーダーシップを発揮すること。

二つは、校長は学校経営の責任者として、生徒や教師の実態を理解し、実態に基づいた改革を進めること。可能なことは何かどのような方法で取り組めばよいのか、具体的ビジョンを持つこと。

三つは、学校からの提言、特に生徒の実情を踏まえた提言を積極的に出していくこと。このような学校からの提言を改革の時期には重視すべきではないかということ。

四つは、中学生に必要な教育として時代が変わっても変わらざるもの、例えば、学習における基本の重視や個に応じた配慮、人間関係づくり、自主性、自律性を育てる教育等については常に経営の基盤として重視する姿勢が必要であること。

五つは、保護者に対し、教育の動向について理解を深める努力をして、共に歩む関係づくりを重視すべきであること。

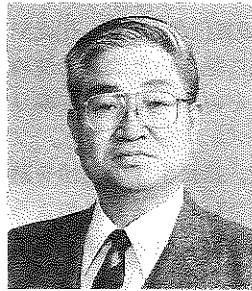
以上の諸点を申し述べましたが、各校長先生方におかれましては、十分ご承知の上で、すでに実践されておられることと存じます。

さて、今日のような激しく変化する、しかも課題の多い時代に、学校経営の責任者として自信をもって堂々と経営に当たることは容易なことではないと私は感じております。校長は如何に有能なスタッフに支えられていても、最終的には自らの判断で事を決する立場にあります。時には、価値観が多様化している中で岐路に立つこともあれば、問題行動の解決に際し、危機的局面を迎え孤独感を感じることもあります。

このような現状にあって、校長会の果たすべき役割は極めて大きいと考えております。校長会が市町村単位で、また、県内13の地区単位で、更には県全体の校長会として身近な足元の問題に関して、情報の英知を出し合っていくことこそ今求められている姿ではないかと思えます。

今年は、中学校長会誕生50年を迎えましたが、今日のような危機的状況の中でこそ、本会の原点を再確認し、支えになる校長会、頼りになる校長会、そして常により質の高い学校経営を目指し、延いては、中学校教育の充実に寄与できる校長会の実現のために共に努力して参りたいと願っております。

「生きる力」



栃木県中学校長会副会長
宇都宮市立豊郷中学校
校長 館野 晴重

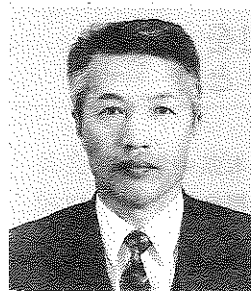
6月28日、神戸市須磨区の男児殺害事件で逮捕されたのは、14才の中学3年生だったということで、多くの人が新たな衝撃を受けた。今事件の動機や背景の解明が進められているが、中学生を残酷な事件に走らせたものは何だったのか、その原因を特定することは難しい。もちろん家庭に大きな責任があるが、学校にも地域にも社会にも問題があり、社会全体で考えなければならない課題だ。

それにしても、少年の異常性に家族はなぜ気付かなかったのか、不思議でならない。深夜の出入りが自由であったところをみると、親は注意することもできずはれ物に触るような関係にあったのだろうか。

核家族や少子化の進み中で、親はわが子可愛さのあまり子供の要求に応えようとし、甘えの環境で子供は育てている。従って子供は苦しくても我慢し努力して困難を乗り越えようといった気力が弱まり、同時に身の回りに起きた小さな問題も自分の力で解決する能力が薄れてきているのではなからうか。

先日聞いた話だが、野球部に在籍する子供の親が夫婦して職員室に血相を変えてやって来て、監督に会いたいという。理由を聞いてみると、うちの子供には、ゼッケンをくれなかったが毎日一生懸命練習しているのに何で選手に出させてくれないのかという。監督の話によると、「本人はミーティングの時、風邪のため欠席してゼッケンを渡せなかった」という。この夫婦は最後は納得して笑顔で帰っていったそうであるが、とても笑い話ですませるものではない。最近はこの類する保護者からの不満や苦情が多くなっているような気がする。生徒一人一人を大切に。子供の欲求、興味、関心を尊重する教育も大切だが、同時に子供の過大な欲求を自分でコントロールできる力や自主・自律の心の育成も忘れてはならないと思う。

この頃思うこと



栃木県中学校長会副会長
市貝町市貝中学校
校長 金田 公男

私が、教職の道をよちよち歩み始めたのは、東京オリンピック前の昭和36年、学習指導要領の第2回改定が行われ「道徳」の時間の導入がなされた時でした。

小学校に赴任して間もなく、己の能力のなさや未熟さから思い悩む日々が続き、転職を考えた時もありました。そんな自分に教師の道をつづけてくれたのは宿直室でした。

「夜、学校に遊びに行きたい。」という担任している子ども達の申し出を快く引き受け、土曜日の宿直には、毎週のように入れ替わり立ち替わり、母親が作ってくれたおやつをもった子ども達が遊びに来ました。

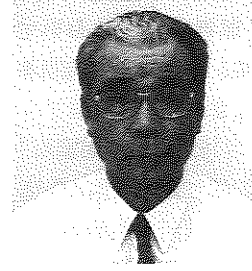
そうしているうちに、彼らとの心のつながりが得られ、彼らは意欲的に学習や運動に取り組み、一人一人が日に日に成長する姿を目の当たりにできたこと。

また、中学校に異動してからも、先輩教師が時々泊まって、教師の命である授業のこと、部活動指導のこと、生徒指導のこと、進路指導のこと、服務のこと、遊び方にいたるまでご指導をいただいたことでした。

先頃、本校が間もなく創立30周年を迎えることと、長い間の緑化活動が認められ、平成9年度の緑化功労者として内閣総理大臣表彰を受けたことを契機に、本校の沿革を詳細に読んでみました。先輩諸氏の熱い思いと教育への情熱がひしひしと感じ取れました。

今、教育界は第15期中教審の第1次答申に始まる教育改革の真っ只中にあります。こういう時こそ、教師一人一人の歩んだ道や教育への思い、勤務する学校の歴史とよき伝統、父母の願いや地域の実態をふまえ、日常的な実践を振り返りながら、足元をしっかりと見つめて、現在と未来の課題に取り組んでいかなければならないのではないかと思いますこの頃です。

退任にあたって



前栃木県中学校長会
長前宇都宮市立泉が丘中学校
長 千本 文雄

このたびの会長退任にあたり、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

平成8年度会長在任中、各校長先生には大変なご協力、ご支援をいただき誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

平成8年度の中学校教育におきましては、いじめ問題、登校拒否生徒への対応、学校週5日制完全実施に向けての学校運営の在り方、新しい学力観の問題等多くの課題に当面し、その解決のために各専門部、研究大会をはじめとし、校長会をあげて努力してきたわけでありました。

また、戦後の中学校50年という大きな節目を平成9年度に控えて、中学校50年誌の発刊に向

けての準備をしてきたわけでありました。その過程において、戦後の中学校教育が50年という長い歴史の中でどのような変遷をたどりながら現在にいたったのかを知り得たのであります。そこには、多くの先達の中学校教育確率のための意欲と実践力とに心うたれる思いがいたしました。

平成9年度はさまざまな意味で記念すべき年になるかと思えます。現行教育課程のねらいが日々の教育活動を通じてどのように達成されているか、その成果が問われる時期になっており、また、教養審の答申がなされ、教課審の中間まとめも9月末には公表される見通しであり、21世紀中学校教育の内容、方法が具体的になってくるものと思えます。

このように大きな教育改革がなされる時期にこそ、一人一人の校長先生の情熱、指導力、判断力、行動力、創造性がますます必要になってくると思えます。校長先生方には、今後とも健康に留意され一層のご活躍をお祈りし、併せて県中学校長会のますますの充実発展をご期待申し上げます。

平成9年度 各専門部活動計画

☒ 調査部

部長 古田土 渡 (宇・陽西中)

1 役員の出選と事業計画の作成

平成9年4月24日、栃木県教育会館において調査部会を開催し、本年度の組織及び事業計画を協議し、次のように決定した。

(1) 役員

部長 古田土 渡 (宇・陽西中)

副部長 篠原 輝一 (河・河内中)

〃 増 淵 辰夫 (上・川俣中)

(2) 事業計画

ア 全日中教育情報部との共同調査である

「中学校教育に関する調査」の実施。

イ 県中学校長会及び各専門部活動に必要な調査と資料の提供。

ウ 他都道府県中学校長会及び各教育関係団体との連携・協力並びに資料・情報の交換

エ 各種調査結果及び資料収集、情報の提供配布

オ 県中学校長会の「要望書」の検討

2 「中学校教育に関する調査」について、本調査は、全日本中学校長会教育情報部より共同調査を依頼されたもので、5月中に実施した。調査にあたっては、県教委義務教育課及び高校教育課等に資料の提供をお願いし、ご協力をいただきました。

なお、調査項目中、「一人当たりの担当教科数」や「教育課程の編成状況」等については、県内全中学校の悉皆調査を要するため、本調査部員を通じて各中学校にご協力をお願いいたしました。集計にあたっては、各地区の調査部の校長先生方にお骨折をいただきました。御協力に厚く感謝申し上げます。

3 5月20日、教育会館にて、校長会から「要望書」の内容を検討して欲しい旨、要請があり研修会を開催した。

検討の視点として、・全県的か・今日的で適正か・要望の充足度、を確認し意見交換をした。その結果、文言や文の削除、重点項目の追加等改正点が幾つか指摘され県理事会にて報告を行った。

☒ 研修部

部長 伊澤 哲夫 (宇・泉が丘中)

1 平成9年度組織

部長 伊澤 哲夫 (宇・泉が丘中)

副部長 君島 由彦 (塩・氏家中)

〃 黒須 英雄 (小・城南中)

2 平成9年度研究活動計画

(1) 研究テーマ

ア 主題 学ぶ意欲と主体的に生きる力を育てる中学校教育

イ 副主題 生徒一人一人を生かした教育活動の推進

(2) 主な研究活動

ア 第19回栃木県中学校長会研究大会の実施

今年度の栃木県中学校長会研究大会は、平成9年9月9日(火)「ブラザインくろかみ」において、中学校教育50周年記念式典と併せて行います。このことから、例年行っていました分科会、講演会は実施せず、3地区の研究発表だけを行うこととしました。

3地区は次のような研究テーマで2カ年間にわたる研究の成果を発表します。

○ 学校教育における危機管理の在り方 (宇都宮・河内地区)

○ 教職員の資質の向上を図る研修の在り方 (南那須地区)

○ 教職員の資質向上を図る指導・援助の工夫 (栃木地区)

イ 研究集録の作成

① 第19回研究大会内容の編集収録

② 各地区実践研究の編集収録

☒ 編集部

部長 三村 文雄 (足・坂西中)

平成9年6月3日(火)、県教育会館において編集部会を開き協議した結果、次のように役員を決定し事業計画を構想いたしました。

1 平成9年度役員

部長 三村 文雄 (足・坂西中)

副部長 野澤 充 (河・明治中)

〃 定岡 明義 (宇・清原中)

2 平成9年度会報発行の構想

ア 会報は年2回発行する(87・88号)

・内容はほぼ従来どおりとする。

・「地区だより」については、「活動計画」「活動結果」を報告する地区が固定しないように年度ごとに入れ換える。

・後期号(88号)に専門部の活動結果の報告を掲載する。

イ 発行予定日

第87号 平成9年9月9日

第88号 平成10年2月1日

ウ 各号の内容

・[第87号] 役員所感、各専門部の活動計画、退任にあたって(前会長)、関東甲信越(茨城)大会報告、新任校長の一言、地区だより、私の朝会訓話、お知らせ(関プロ大会等)

・[第88号] 役員所感、各専門部の活動報告、全日中大会報告、研究学校報告、地区だより、海外教育事情報告等

3 次回編集部会

ア 平成8年11月下旬の予定

イ 議題 会報第88号の内容、執筆者人選等

4 その他

会報87号、88号とも12ページにする方向で検討中。

☒ 職員対策部

部長 大谷 恵一 (南那・七合中)

平成9年4月24日(木)、県教育会館において専門部会を開き、本年度の組織及び事業計画について協議し、事業として福利厚生部との共催で、「退職後の生活設計について」を主題に研修会を次のように開催することを決定しました。

1 役員

部長 大谷 恵一 (南那・七合中)

副部長 高梨 眞佐岐 (宇・一条中)

〃 篠崎 利男 (小・小山中)

2 事業計画

講話 「退職後の生活設計について」

期日 平成9年11月25日(火)

場所 栃木県教育会館

講師 栃木県教委福利課長、各係長他

3 研修内容

— 退職と退職後の課題 —

(1) 医療保険について

・退職後の医療について

・任意継続組合員制度

・継続療養制度等

(2) 退職手当について

・退職手当について

・退職手当の種類について

・退職手当の算出

・各種税等

(3) 年金制度の概要について

・年金の種類

・退職共済年金の内容と仕組み

・退職共済年金の支給等

(4) 退職者部会等について

・退職者部会について

・退職者部会の加入のしかた等

☒ 進路対策部

部長 片柳 實 (小・間々田中)

平成9年4月24日(木) 県教育会館において、専門部会を開き、本年度の組織及び事業計画について協議し、次のように決定した。

1 役員 部長 片柳 實 (小・間々田中)

副部長 堀江 次男 (南・小川中)

〃 笹島 格 (宇・宝木中)

2 本年度の事業計画

本部会の研修テーマを「中学校における適正な進路指導の推進と高校教育改革への提言」とし、それに対する各地区のアンケート結果をもとにして、本部会のまとめを行い、次の私立高校連合会、県教育委員会との懇談会における話合いの資料とすることとした。

その主な内容は、高校教育制度に関すること、高校入学者選抜に関すること、私立高校入学者選抜に関することについて要望をまとめ、話し合い活動することとした。

(1) 第1回研修会

ア 期日 平成9年7月8日(火)

イ 会場 県教育会館 中会議室

ウ 内容 各地区のアンケート結果を持ち寄り、次に挙げる内容について、検討しまとめる。

・総合選択制専門高校の在り方について

・総合学科の設置について

・特色ある学校づくり、新しいタイプの高校づくりについて

・単位制高校の在り方について

・期日高校入学者選抜について

・私立高校入学者選抜について

・その他

(2) 第2回研修会

ア 期日 平成9年9月17日(水) 午前

イ 会場 県教育会館(予定)

ウ 私立高入試についての協議

(3) 第3回研修会

ア 期日 平成9年11月21日(金) 午前

イ 会場 未定、県教委との協議

☒ 修学旅行部

部長 古 泉 臣 一 (宇・宮の原中)
平成9年6月3日(火) 県教育会館において専門部研修会を開き、本年度の組織及び事業計画を次のとおり決定した。

1 組織

- 部長 古 泉 臣 一 (宇・宮の原中)
副部長 佐 藤 安 夫 (上・栗野中)
" 保 々 政 司 (足・第二中)
次 長 落 合 延 行 (宇・若松原中)
監 事 斎 藤 悦 郎 (芳・中川中)
委 員 中 里 幸 雄 (下・小山第二中)
" 中 田 昌 宏 (下・栃木東中)
※関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委)
副 会 長 間 宵 博 (宇・旭中)
監 事 古 泉 臣 一 (宇・宮の原中)
運 営 委 員 落 合 延 行 (宇・若松原中)
" 佐 藤 安 夫 (上・栗野中)
" 保 々 正 司 (足・第二中)
" 斎 藤 悦 郎 (芳・中三川)
" 中 里 幸 雄 (下・小山第二中)
" 中 田 昌 宏 (下・栃木東中)

2 修学旅行改善向上の事業

ア 修学旅行の基本3条件を充実させる活動
安全性の確保・教育性の充実・経済性の適性化

イ 全員参加の原則確立のための活動

ウ 学校現場と直結した実践活動

上記の活動を実現させるため、本部会は関東5県の校長会で組織する関修委に加盟し、全国修学旅行研究協会といったいとなって活動している(1)新幹線(専用列車)利用希望調査(2)修学旅行実施調査研究(3)輸送計画作成(他県との調整)(4)修学旅行費等の国庫補助金増額への陳情(5)研究会等の開催及び参加

本部会の目的をご理解をいただき、未加盟地区(学校)の加盟を強く希望いたします。

☒ 福利厚生部

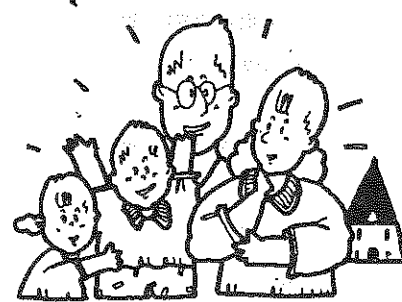
部長 君 島 勇 (河・南河内中)
平成9年4月24日(木) 教育会館において専門部研修会を開催し、本年度の組織ならびに事業計画を次の通り決定した。

1 正・副部長

- 部長 君 島 勇 (河・南河内中)
副部長 大 垣 龍 夫 (宇・姿川中)
" 石 川 純 子 (塩・船生中)

2 事業計画

- (1) 第1回部会研修会 平成9年4月24日(木)
県教育会館
ア 役員選出
イ 事業計画作成と活動推進確認
(2) 第2回部会研修会 平成9年9月6日(土)
丸治ホテル
ア 「生徒手帳」編集会議
イ 情報交換
(3) 第3回部会研修会 平成9年11月25日(月)
県教育会館
講話「退職後の生活設計」
講師 県教委 福利課職員
※ 職員対策部と共催事業
(4) 第4回部会研修会 平成10年2月21日(土)
丸治ホテル
ア 「新しい道」「中学生の安全」編集会議
イ 本年度の事業反省と次年度の計画



第49回関東甲信越地区中学校長会研究協議会茨城大会に参加して

事務局長 須 藤 光 弘 (宇・陽東中)
第49回を迎えた関プロ茨城大会が、6月12日・13日の2日間、「梅と水戸学と黄門様」の水戸市に、1都9県から1,200名余の中学校長が参加して開催されました。

埼玉、山梨に引き続き「学ぶ意欲と主体的に生きる力を育てる中学校教育」を研究協議会として今中学校現場で直面している諸問題と中学校教育の今後の在り方について、全体会、分科会を通して研究発表や研究協議が熱心に展開された。

第1日目の開会式では、中川 實大会委員長から「学校観・教育観・指導観への警鐘と確信のバランスに配慮しながら、普遍の価値を通し、平和で豊かな国造りの人材育成に向けて、教師自ら自己を磨く心を持ち、自らの存在理由を明確にしながら研鑽を続け、国民の要望に応えよう」とのあいさつがあった。続いて、文部省、県知事、県議会議員、県教育長、水戸市長、全日中会長からの祝辞の後、文部省説明として、文部省中学校課長補佐添屋治夫先生から「中学校教育における諸問題」と題して、中教審2次答申における5つの章について具体的な説明があった。

全体協議では、水戸市立常澄中学校長井東武雄先生から、「変化の激しい時代を展望し、心豊かな人間を育む中学校教育の創造」を視点とし、道徳教育に重点をおいた研究発表がなされた。

分科会は、3協議会9分科会が展開され、本県からは、第3分科会において上野忠之校長(芳・逆川中)が道徳教育充実のための指導体制の確立を発表し参会者の好評を博した。

第2日目全大会で、会務報告、大会宣言文決議がなされた後、宇宙開発事業団参事菊山紀彦先生の「ここまで来た日本の宇宙開発」と題した記念講演が行われ、驚異的な科学技術の進歩と地球環境保全の重要性を再認識し、感銘を受けながら盛会のうちに多大の成果を挙げた大会が終了した。

☒ 生徒指導部

部長 真 船 淑 和 (宇・瑞穂野中)

1 事業計画の概要

- (1) 第1回部会研修会 平成9年4月24日
県教育会館 13:00~
(2) 第2回部会研修会 平成9年11月19日
県教育会館 10:00~

2 第1回部会研修内容

- (1) 役員選出と研究課題の決定
部長 真 船 淑 和 (宇・瑞穂野中)
副部長 田 中 秀 夫 (下・野木中)
" 増 田 弘 (那・黒田原中)

(2) 平成9年度生徒指導部研究課題

【いじめへの対応】
~主として家庭・地域との関わり等について~
(3) 研究の方向

いじめへの対応については、県教委版『いじめへの対応』等を参考に、研究実践されていると思われるが、生徒指導部としては、特に家庭・地域とのかかわりを、下記の①~⑤について各校または地域での研究実践例を出し合い、情報交換し、より良い連携を探っていきたい。

- ① いじめ問題については学校とそこをとりまく家庭・地域との連携が大切だと言われていますが、各学校ではどのような取り組みをしていますか。
② PTAや地域の関係団体との間にどのような組織がありますか。また、考えられますか。
③ 学校での取り組みや情報をどのような方法で地域住民に流し、協力をあおぎますか。
④ 地域からの情報収集を学校ではどのような方法で行いますか。
⑤ 地域との連携をはかるとき、生徒の人権を尊重していくうえで、どのような配慮が必要でしょうか。

3 第2回部会研修会の内容

課題について、勤務校、あるいは、地区内においての実践研究や考えられる対応の仕方についての情報交換を実施し、今後のいじめへの対応をに役立てたい。

新任校長の一言

新任校長として

小山市立美田中学校校長
酒井 一行

久々に学校現場への復帰を命じられ、はや4か月が経過しようとしている。まさに、浦島太郎のような面持ちでの赴任であったが、大過なく過ぎた日々を振り返るとき、教職員、生徒、そして保護者に恵まれたことを有難く感じている。まさに「教育は人なり。」である。

さて、10年ぶりの学校勤務であるが、一番痛感しているのは「多忙感」である。原因は、いろいろ考えられるが、いずれにしても、教職員して生徒にとって、学校が「ゆとりある教育空間」となるように「スリム化」を目指して早急に取り組む必要性を感じている。そのためには、休むことを知らぬ教師集団の意識変革と学校外からの要請や依頼等の吟味が必要と考えている。

また、生徒や保護者の価値観の多様化にも戸惑いを感じている。これについては、ややもすると無力感に陥りがちな教職員に対して「夢と希望、そして勇気」がもてるように、少しでも援助できればと考える。なすべきことは多いが、できることから手を付ける以外はないと考える。

校長室のドアは。。。。。

栃木市立寺尾中学校校長
野尻 和孝

校長に昇格して間もなくの会合で、保護者の方から「校長先生、校長室のドアは開けておいてくださいよ」と言われた。別の会合で、「校長室のドアは開けておいておいたほうがよいでしょうかね」と他の保護者にそれとなく聞いてみると、「校長先生の権威がなくなってしまうですよやはり閉めておく方がいいんじゃないんですか」との答えが返ってきた。

生徒の目線で判断すると、校長室のドアは開けておく方がいいのかなと思ひ、試しに廊下側のドアを開けておいてみた。すると、訪問者第1号が現れた。「校長先生、何してんの？」と1年生のA子ちゃんだ。A子ちゃんは勉強も運動もけし

て得意ではないが、素直な生徒。やはりドアは開けておくべきだなと思った。新任校長研修第2日目に、総合研修センターの五月女勝正先生の講話があり「宇都宮市立東小学校長時代は、厳寒などの特別の場合を除いて、校長室のドアは開けておいた」との内容があった。我が意を得たり。講話が終了したとき、力をこめて拍手した。

新米校長の寝言

烏山町立烏山中学校校長
池澤 進

のっけから不眠ですが、その昔どの町にも「もっさり酒」をうりにする酒屋さんがあった。主人が受け皿付きのコップを客の目の前にデンと添え置きわしづかみの一生塚からなみなみとそそぐ。主人の微妙な手さばき加減でコップから酒が溢れ受け皿に滴り落ち、その量の多少で左党からその店の評価を受けたものだ。受け皿の僅かの酒量が市井の人達に安堵感と明日への活力をもたらした。

今、ゆとりと生きる力をキーワードに教育改革の真最中である。週五日制を五合升に現在の教育課程を六合の米に例え、五合升に六合の米を如何に盛り込むかの検討が生徒の興味や関心、感動や喜びに後ろ髪を引かれる思いで侃々諤々の議論がなされてきた。やっと、納まった教育課程は生徒の自治的運営に委ねられるべき特別活動も肉をそがれ骨っぽくなってしまっている。

いよいよ、21世紀を馳せる生徒のゆとりある学校教育は「新しい革袋には新しい酒を」の例えに習い、新しい教育課程編成の基準たる新しい物差しの日も早い披露が待たれる。新米校長の戯言である。ご容赦を。

新任校長の独り言

足利市立第一中学校校長
小口 勝

先日のことである。PTAの会合に出席していたAさんは学校の公衆電話から自宅に電話した。Aさんは電話のあと財布をそこに置いたまま会合に戻り、あとになって財布を忘れたことに気がつ

地区だより

明日に役立つ研修を
目指して

河内地区

平成9年度の河内地区中学校長会は、退職、行政への転出、宇河地区管内の異動などの後任に3名の新任校長を迎え、4月4日に本年度初の中学校長会を開催し、研修計画や各種研究団体等の分担を協議した。今年度の研修計画や研究の歩みは下記のとおりである。

【活動及び研修計画】

4/4年間研修計画作成、組織づくり、全日中総会、関プロ大会、全日中研究大会関係の参加者確認 4/11宇河中校長会合同研修（研修計画等の調整、情報交換）5/28～29全日中校長会総会参加 6/6郡中校長研修会（明治中会場学校教育における危機管理の研修及び専門部会からの連絡、情報交換）6/10宇河中校長研修会で研修部課題研究 6/12～13関プロ校長茨城大会に河内4名参加 7/11宇河中高校長連絡協議会 9/9県中校長研究大会・県中学校50年記念行事参加 10/17、11/4郡小中校長研修会中学校長部会 2/6宇河中校長研修会（次年度活動計画原案作成）

本中学校長会は小中学校長会の合同研修、河内北部・南部の校長会と連携をとりながら9中学校の独自性・特色を生かしながら研修を推進する。

【研究テーマ】

「学校教育における危機管理のあり方」

平成8年度に引き続き、この研究テーマで宇都宮地区と合同で研究を推進し9月9日の県中校長研究大会では3地区発表の1つとして宇河地区が担当することになった。

今年度の研究は学校教育の場での危機管理について学校として、校長としての対応の仕方、また「危機」の予防のために学校として、校長としてどうするか研修を深める。また、校長と職員との危機意識の差異についても触れる予定である。

いた。あちこち探したが見つからない。財布の中には現金のほか運転免許証も入っていたという。まさかと思うものの悪い想像が頭をよぎる。

あきらめきれない表情でAさんが帰った後、Aさんの財布はAさんの子供のB君の手元に届いていたことがわかった。公衆電話のそばで財布を見つけた女生徒のCさんが、入っていたAさんの免許証を見てAさんが学校に来ているのを知らずにB君に渡したのだ。渡されたB君は不思議に思いながらもそれを受けとった。

知らせを受けたAさんの喜びはひとしおであった。そして、このことを聞いたあとの学校は先生も生徒もみんなニコニコと幸せな気分であった。

生徒179名、職員15名。全員が全員のことを知っている学校の中で、生徒に教えられ、生徒に支えられる毎日感謝で過ごしている。

学校経営にあたって

塩谷町立玉生中学校校長
高瀬 崇夫

4月1日、栃木県総合教育センターにおいて古口紀夫県教育長より一人一人辞令をいただきました。新任校長として、その責任の重大さをひしひしと感じました。

以来、4カ月が過ぎようとしていますが、毎日が新しい勉強の連続です。

緑あふれる学校、235名の生徒、20名の教職員と共に「学習に全力をつくす生徒」「思いやりのある心豊かな生徒」「心身ともにたくましい生徒」を目指して努力しております。

特に力をいれていることは、「家庭・地域社会との連携を密にし、開かれた学校づくり」「いじめ・登校拒否等への対応といきいき栃木っ子3あい運動の推進」「施設・設備の効果的活用と、学習の場にふさわしい環境づくり」等です。

新米の校長ゆえに、先が見えずに心もとないところも沢山ありますが、『教職員が安心して仕事ができる』ような環境づくりに特に配慮しております。今後とも、先輩方のご指導、ご援助をよろしく願いいたします。

平成9年度の研修計画

芳賀地区

芳賀郡市中学校長会は、4名の新会員を迎えてスタートした。市員中校長金田会長を中心に、中学校で抱えている様々な課題について、和やかなうちにも真剣に、研修に取り組んでいる。研修の一環として、毎回情報交換を行うが、この時は率直に自校の問題点を提起し、時間を忘れて話し合うことしばしばで、非常に有意義である。定例の研修では「中学校経営上の課題を究明し、もって校長としての資質の高揚を図る」という目的を掲げ、下記の計画に従って実践している。

- 第1回「総会・研修計画立案」
- 第2回「校内研修の在り方……豊かな心を育てる道徳教育」逆川中 上野校長
(関プロ茨城大会で県代表として発表)
- 第3回「生徒指導……教育相談活動の取り組み」茂木中 刑部校長
- 第4回「職員指導……使命感を育てる職員指導」市員中 金田校長
- 第5回「学校経営……生きる力を育てる学校経営」真岡西中 山口校長
- 第6回「地域探訪……芳賀町の史跡」
- 第7回「研修のまとめ、反省」

本年度の研修計画から

小山地区

小山市中学校長会は11校で構成・本年度は2名の新会員をむかえ、会長に小山第三中学校安久井賢治校長を選任してスタートした。

研修テーマ及び研修計画は次のとおり。

- 研修テーマ
「個性を生かす教育をすすめる学校経営」
- 研修計画
- 1 4月 組織づくり、研究テーマ設定、確認
 - 2 6月 テーマに基づく研究協議、問題点抽出
 - 3 8月 テーマに基づく研究協議、研究の深化
 - 4 9月 テーマに沿った先進校視察
 - 5 10月 テーマに基づく研究協議、まとめ
 - 6 1月 本年度の反省、今後の課題
- このほかに、小中学校合同研修会として

- 5月 先輩校長による講話、「学校経営に関する内容」
- 7月 校長経験2年目の校長による学校経営の実践事例発表
- 9月 校長の一般教養講座として、教育関係者以外の方の講話を計画している。

教員の資質の向上を目指して

南那須地区

平成9年度の南那須地区の校長会は、2名の転採校長を迎え8名で構成されている。第1回の校長会は4月4日に開き、組織編と研修計画が審議され、大谷恵一会長を中心に本年度の新しいスタートを切った。

研修テーマは本年度9月の県校長会での発表、10年度関プロ千葉大会での提案を視野において昨年度の研修を更に深めることにした。

- 研修テーマ
「教職員の資質の向上を図るための校内研修の在り方」
- 研修計画
- 1 4月4日 組織編成 研修計画
 - 2 5月13日 研修テーマに基づく研修等
 - 3 7月17日 研修テーマに基づく研修等
 - 4 7月28日 研修テーマに基づく研修等
 - 5 10月2日 学校経営上の諸問題等
- このほか、小中合同による研修会を年3回計画し、実施している。

研修計画の概要

塩谷地区

平成9年度の塩谷地区の校長会は、2名だけの異動で、昨年度とほとんど変わらないメンバーでスタートしましたが、5月、矢板中真岡校長の突然の不幸に出会い、ショックを受けました。現在は、矢板中に杉山校長を迎え、軌道に乗って、研修につとめています。本年度の研修計画は次のとおりです。

- 研修テーマ「いじめ・不登校問題に、校長としてどう対応するか」
- 研修計画
- 1 4月4日 研修計画、組織編成

- 2 5月22日 研修テーマに基づく研修ほか
- 3 7月25日 研修テーマに基づく研修ほか
- 4 8月18日 研修テーマに基づく研修
～19日 教育課程実施上の諸問題ほか
- 5 10月7日 中学校教育の諸問題懇談会
- 6 1月19日 創意ある教育課程の編成ほか
- 7 2月27日 9年度の反省と10年度の計画、このほかに、小中学校合同による研修会を年4回を計画し、研修を進めています。

選任し、続いて今年度の研修計画を話し合い決定した。

研修テーマを「学ぶ意欲と主体的に生きる力を育てる中学校教育」(県のテーマと同じ)とした。研修計画として、中学校長研修会を6回、小中学校長合同研修会を4回、小中学校長合同同和研修会1回をそれぞれ予定した。ほかに、関プロ、全日中の研究大会には、分担して参加することとした。

研修に当たっては、テーマにそった研修と、学校経営上の諸問題並びに緊急課題について協議を行うこととした。

石井会長から細やかな配慮をいただき、加えて本地区小中学校長会長に選任された北中学校関根英男校長からの指導もいただき、実のある研修が進められている。

今年度の研修予定から

足利地区

足利地区中学校校長会(会員11名)は、今年度は3名の新会員を迎え、第1回目の会議を4月4日に開催し、会長に第三中学校石井歳一校長を

私の朝会訓話

地球を大切に

佐野市立城東中学校長 秋野 勉

7月8日にアメリカ航空宇宙局(NASA)から公表された火星の写真を見ることができました。それは、7月4日に火星の探査機(マーズ・パスファインダー)が着陸した地点の周囲360度を撮影した写真でした。火星は地球とほぼ同時期に生まれているので「兄弟星」と呼ばれています。大量に水の流れた跡もあるそうです。

21年前のバイキング1・2号による火星の表面を撮影した写真が理科の教科書2分野上にあり「地表は、赤茶色の岩や土でおおわれ、肉眼でも赤く見える。二酸化炭素を主成分とする大気がうすく水も氷の状態でした存在しない」と説明されています。ぜんかいと今回の写真を見たり、説明を読むかぎり、地球人の住める星ではなさそうです。

今回は小型探査車(ソジャーナ)が地球からのコンピューターによる遠隔操縦で火星表面を計画的に走り回り、岩を採取するだけでなく、岩や土に含まれている物質がどのようなものであるか分析して、結果を地球に送信しているそうです。

科学技術の進歩は特に素晴らしいものがあり、

いつか、地球上の旅だけではなく、宇宙へツアー旅行を募集するようになるかもしれません。そして、宇宙を旅して、地球の良さやすばらしさを実感し、人として生きられる地球を見直すにも違いないと思うのです。宇宙の旅をしても、しなくても、自然に恵まれた、この地球を大切にしていかなければならないと思います。

1972年のアポロ17号が撮影した地球の写真が、理科の教科書に火星の写真の隣にあります。その説明には、「豊富な水、大気、適度な光と温度など、めぐまれた条件のなかで数多くの生物が生きている地球、私たちにとってかけがいのない天体である」とあり、とても鮮やかな写真です。

いつまでもこの地球を存在させるために、今問題になっている身近な生活公害問題はもちろん地球温暖化・大気汚染・地球資源の大量消費・環境破壊などの自然破壊に対し、私たちは無関心ではいられないのです。環境の保全を考え、まずは私たちにできることから、積極的に、地球を大切にす行動をしようではありませんか。

お知らせ

関東ブロック研究大会・栃木県開催3大会のご案内

I 第40回 全関東地区中学校国語教育
研究協議会栃木大会

- 1 大会主題
確かな言語能力を身につけ、自ら
学ぶ力を育成する国語科授業の創造

2 期 日
平成9年10月24日(金)

3 会 場
宇都宮市立宮の原中学校

- 4 日 程
9:00~9:20 受付
9:20~10:00 開会行事・基調提案
10:00~10:50 研究授業
11:00~11:40 分科会(授業研究会)
12:40~14:10 分科会(研究発表会)
14:20~14:40 全体会
14:40~15:40 記念講演
15:40~15:50 閉会行事

4 日 程

- ・第1日目
11:00~ 受付
12:45~13:30 開会行事・全体会
13:30~14:50 主題提案・研究発表
15:00~16:30 全体指導〔記念講演〕
・第2日目
8:50~9:40 研究授業
9:50~10:50 授業研究会
11:00~12:20 分科会(研究協議)
12:20~12:30 閉会行事

II 第21回 関東甲信地区中学校
英語教育研究協議会栃木大会

- 1 大会主題
国際社会に生きる力を培う英語教育
~コミュニケーション活動の質的改善と充実
とを目指して~

2 期 日
平成9年11月6日(木)・7日(金)

- 3 会 場
全体会 小山市立文化センター
分科会 第1会場 野木町立野木第二中
第2会場 小山市立小山城南中
第3会場 小山市立桑中
第4会場 栃木市立栃木東中

III 第24回 関東地区学校図書館研究大会
栃木県宇都宮大会

- 1 大会主題
「新しく魅力的な学校図書館をつくるために」
~学習・情報センター、読書センターとして
の充実を目指して~

2 期 日
平成9年11月6日(木)・7日(金)

- 3 会 場
全大会 宇都宮市文化会館
部 会 小学校 宇都宮市立西原小
中学校 宇都宮市立鬼怒中
高 校 宇都宮中央女子高
特 殊 野沢養護学校
司 書 宇都宮市文化会館

- 4 日 程
第1日目 12:00~17:30
第2日目 9:00~15:20